



腎不全の猫へのアニマルレイキの効果について

井ノ口 恵美

今回、私はアニマルレイキが使えるようになり、我が家の6頭の猫達に実践し始めました。

その6頭の猫の中の1頭に起こった変化を報告します。

モデルになってくれたのは、元野良の黒猫のくーちゃん（雌、推定11歳）です。昨年の1月上旬に突然に癲癇発作を起こしたことがきっかけで受診し、慢性腎不全と診断されました。このときより腎臓病用の処方食に切り替え、定期的な皮下補液と薬の投与の治療を行なっています。他にも肥満細胞腫があり、抗ヒスタミン剤を投与して経過観察中です。このくーちゃんに昨年11月下旬から本格的にアニマルレイキを行なったところ、尿の色が微妙に濃くなったように見えました。これはアニマルレイキの効果ではないかと感じたのがきっかけで、くーちゃんを観察することにしました。

観察項目毎に述べていきます。

まず、くーちゃんに対してどのくらいアニマルレイキを行ったかを時間をトータルしたところ、以下の通りでした。

11月 105分
12月 450分
1月 210分

アニマルレイキの講座に通い始めたのが11月半ばからで、我が家の猫達も最初は戸惑っていたようであまりできませんでした。くーちゃんも同様に、何なん？何するん？という感じでやや拒否していた感じです。ところが、どんどん回数を重ねるにつけ、くーちゃん自らアニマルレイキを望むように態度が変化しました。そのため12月以降のアニマルレイキの時間は長くなっていきました。

昨年1月上旬よりくーちゃんの癲癇発作の記録をつけています。それによりますと、だいたいひと月の間に2～3回といった頻度です。頻度についてはこの報告期間中も変化はありませんでした。

アニマルレイキ開始後より、くーちゃんの尿の様子を写真で記録もしていますが、見た目の変化は感じられませんでした。

血液検査における腎不全の項目のBUNとクレアチニンの数値について。

2015年5月～12月の両項目の数値は特に大きな変動はなく、かかりつけの獣医師からも現状維持と言われていました。

尿比重について

腎不全にみられるうすい尿です。

1.012～1.016の数値で大きな変化はありませんでした。

体重の変化について

体重が減少傾向にあります。食欲にムラがあったりもしますが、以前の体重が多かったと言えなくもありません。ごはんはよく食べるので今後も経過を見ていきます。



上記以外に注目したのが、生活面と癲癇発作時の様子です。

まず、生活面から言いますと、アニマルレイキ開始前のくーちゃんは、トイレとごはん以外はほとんど寝てばかりで、自分でグルーミングする姿をみかけなくなっていました。腎不全と診断される以前より、毛艶も悪くなっていたのです。

また、飼い主である私とは、ごはんのとき以外はあまり触れ合いの機会がありませんでした。しかし、アニマルレイキ開始後、これらの様子に変化したのです。

グルーミングを自分でもこまめに行うようになり、バサバサだった毛に艶が出てきました。

私には、ごはんのとき以外にもスリスリしたり、手を出せばペロペロと念入りに舐めてくれるようになったのです。飼い主としては、この上ない幸せを味わうようになりました。

そして、最大の変化が、癲癇発作時の変化でした。

初めての発作のときから記録をとっていますが、頻度にばらつきはあるものの、多いときは月に3回の起こったこともあったのが、ひと月に1～2回程度になりました。

全く発作のない月もあるので現時点では比較できませんでしたが、驚きの変化があったのが、回数ではありませんでした。

普段のくーちゃんの発作の様子はざっくり書くと、痙攣が起きる→数十秒で痙攣がとまる→寝たままの状態呼吸が荒い→断続的に同じ場所をぐるぐる歩きまわる（徘徊）→平常時にもどる

といったパターンです。痙攣から平常時までだいたい40～50分程度かかっています。今までの私は、ただ見守るだけでした。

ところが、アニマルレイキを使えるようになった私は、発作開始と同時にくーちゃんにアニマルレイキを施してみたところ、なんと徘徊のプロセスが無くなったです。しかも、40～50分かかっていた時間も25分くらいに短縮していました。これはやはりアニマルレイキの効果だと私は確信しています。

以上のことから、腎不全という病気自体が治っているわけではありませんが、腎臓の残された機能が維持されているから、食欲もあり、自分でグルーミングもします。すなわち、くーちゃんが元気であるということです。体調不良時の猫なら、ごはんは受け付けず、毛並みも悪くなります。アニマルレイキ開始時までのくーちゃんはこれに似た様子でした。私の思う猫らしい生活とは、お腹が空いたら、なりふりかまわずごはんを要求し、自分の体は自分できれいに、寝たいときに寝て、遊びたいときに遊ぶ。これが猫の生活の質の基準だとすると、くーちゃんは病気になる前の姿に少し戻ってきたようです。そのようなことから、アニマルレイキは、くーちゃんの腎臓のサポート、病気の症状の緩和、生活の質の向上に作用していると思われます。

また、動物がアニマルレイキを気持ちよいと受け止めてくれれば、人間のことをさらに信頼してくれてコミュニケーションが深まります。アニマルレイキは人間も動物もお互いに幸せになる素敵なツールです。私にとって、これからもアニマルレイキは必要不可欠なものとなりました。



ANIMAL REIKI ASSOCIATION
Harmonize the Earth with Animal

グルーミングをよくするようになった↓ アニマルレイキ中の様子↓



アニマルレイキで起こった「ねこだんご現象」↓

